

ベトナムの食品加工市場と 11 月の注目ニュース

とちぎベトナムサポートハブ

(運営：ONE-VALUE 株式会社)

2024 年 11 月

I. はじめに

ベトナム・ハノイ市に開設された、とちぎベトナムサポートハブ（愛称：とちぎハブ）より、毎月ベトナム現地の最新情報をお届けいたします。今回は、ベトナムの加工食品市場の動向についての概説です。また、今月（11 月）の注目ニュースをお伝えいたします。

II. ベトナムの加工食品市場の動向

ベトナムの食品市場の予測売上高は 2024 年に 927 億 6,000 万米ドルに達し、年間成長率は 7.25%（CAGR 2024-2029）と予想されています（Statista、2024 年）。最大の市場セグメントはパンとシリアル製品で、2024 年の市場規模は 164.6 億米ドルとされています。

特に、ベトナムの加工食品市場は急速に成長しています。この業界には大きな潜在力があり、加工・製造（CPV）業界の年間純収入の 20%以上に貢献しています。この成長は、急速な経済発展に支えられ、国内の中間層や富裕層が増加していることが要因です。さらに、食のニーズの多様化、簡便志向、欧州や日本のレストランの台頭、健康志向の高まりといった要因もこの傾向を後押ししています。特に注目すべき点として、ベトナムの消費者が、より付加価値の高い食品に対する需要を高めていることが挙げられます。これは、高度な技術を持つ日本企業にとって有望なビジネスチャンスと考えられます。以下では、野菜加工類、食肉加工類、水産加工類について紹介します。

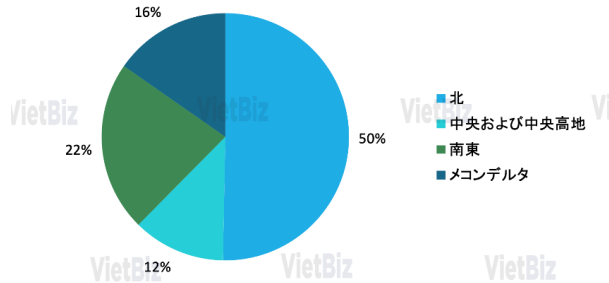
野菜加工類

農業農村開発省のデータによると、ベトナムの果物・野菜の年間収穫量は約 3,100 万トンに達しています。しかし、加工に回される生産量は約 450 万トンに過ぎず、ベトナム全体の青果物生産量の 12~17%にとどまっています。

2023 年には、冷凍・加工野菜市場からの収益が野菜部門全体の収益の 12.9%を占め、14.1 億米ドルになると予測されています（Statista）。農業・農村開発省によると、果物・野菜加工産業の規模が最も大きいのは北部地域です。

北部地域では青果物加工業が最大である。

ベトナムの青果物加工市場の地域別市場シェア



出所: 農村開発省のデータに基づきVietBiz作成

食肉加工類

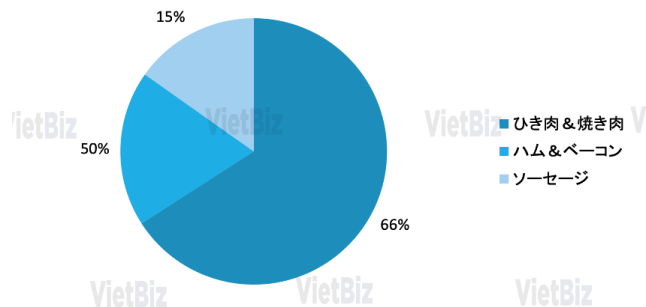
ベトナムにおける食肉部門の売上高は、2023年に約99億4,000万米ドルに達し、2022年から11.2%増加しています。2023年から2027年までの同部門の年平均成長率は約11.37%と予測されています。

生肉市場は2023年の売上高に占める割合が最も高いと予想され、推定売上高は約87.8億米ドルで、食肉部門全体の売上高の88%以上を占めるとされています。残りの収益は加工肉市場（11.3%）と食肉代替製品からもたらされると予測されています。生肉部門で収益を生み出す主要製品は豚肉（36.8%）、次いで鶏肉（21.7%）、牛肉（17%）とされています。一方、食肉加工品市場では、ハム・グリル肉部門が65.9%で最大の売上シェアを占め、次いでベーコンが18.9%、ソーセージが15.2%と予測されています。

植物性食肉やベジタリアン食肉を含む食肉代替製品に関しては、この市場は比較的小さいものの、2023年の予想売上高は約4,341万米ドルとされています。しかし、市場成長率は高く、2022年より約24.2%の増加が予測されています。

食肉加工品市場では、ひき肉・焼肉類が利益で最大のシェアを占めている。

2023年のベトナムにおける加工肉セグメントの市場の収益割合



出所: Statistaのデータに基づきVietBiz作成

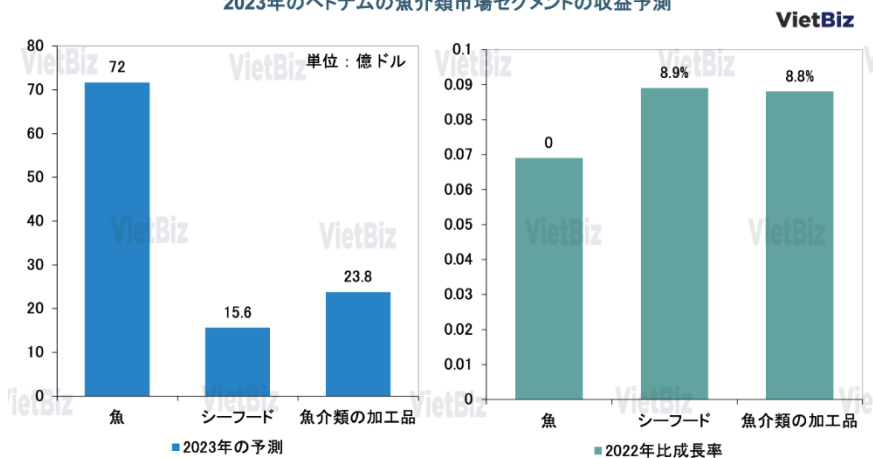
水産加工類

ベトナムの漁業・水産物部門からの収益は、2023年に2022年比7.6%増の約111.1億米ドルに達すると予測されています。また、2023年から2027年の年間平均成長率は約6.96%とされています。

2023年も鮮魚市場からの収益が最も大きなシェアを占めるとされ、収益は約72億米ドルで、水産部門の総収益の64.5%以上を占めています。これに次いで、水産加工品（21.4%）、鮮魚（14%）と続くと予測されています。

ベトナムの魚介類市場の売上高は、2023年には2022年比7.6%増の約111億1,000万米ドルに達すると予測され、そのうち水産加工品は21.4%を占める。

2023年のベトナムの魚介類市場セグメントの収益予測



出所: Statistaのデータに基づきVietBiz作成

Ⅲ. 【11月注目ニュース】

➤ トランプ氏再選によるベトナム経済への影響

トランプ前政権時代には、アメリカは環太平洋パートナーシップ協定（TPP）から撤退し、ベトナムを「為替操作国」監視リストに加えましたが、ベトナム製品に対して制裁措置は実施されませんでした。ACBS証券の分析専門家チン・ヴィエット・ホアン・ミン氏によれば、トランプ氏の再任により恩恵を受ける企業として、工業団地を保有・販売する不動産企業が挙げられるということです。さらに、原産地証明を確立した輸出企業も恩恵を受ける可能性が高いとしています。

多くの専門家は、トランプ政権下でベトナムの経済が課題に直面する可能性があるとして指摘しています。強力な関税の導入は水産物や繊維などの輸出業界に困難をもたらす可能性があります。為替レートについては、下落する可能性が高いとの予測があります。しかし、長期的には、順調な外国からの投資や国際貿易による期待が、為替レートを適正範囲内に収束させるという見方もあります。鉄鋼産業は、アメリカ鉄鋼産業の復活を目指した政策の影響を受けると懸念されています。鉄鋼以外にも、エネルギーやプラスチック業界もポジティブな影響とネガティブな影響が交錯すると予想されています。

とちぎベトナムサポートハブ

<所在地> 14F, Viet A Building, No.09 Duy Tan, Cau Giay, Hanoi, Vietnam

HP:<https://onevalue.jp/>